

体験農園レポート～夏野菜の収穫～



ほのぼの堀之内では、生活リハビリの一環として、畑を借り体験農園を実施しています。

8月も引き続き熱中症の危険性が高い日もございましたので、当日の天候で活動時間の調整をさせていただきました。

この時期は少し畑に行かないと通路や畑の中に雑草が生い茂ってしまい、活動や野菜の生育にも影響が出てしまう為、職員が中心となり、雑草抜きを行い、一部をご利用者にお手伝い頂きました。草刈りは重労働ですね。

体験農園に参加していると、日頃野菜を生産されている、農家の方々の苦勞の一端が垣間見えるような気がします。



製作活動～芸術の秋のぶどう作りのご報告



9月初旬デイサービスではご利用者の方々と製作物としてぶどう作りを行いました。

台紙に下絵を描いて、ぶどうの粒に見立てた、丸く切った折り紙を自由に貼っていきます。

その方によっては色を替えながら貼られたり、濃淡をつけながら貼られたりと、その方の感性

が反映された、素晴らしい作品が出来上がりました。「ブドウ狩りに行った事がある?」「美味しそうなぶどうだなあ」「今年は食べていないな」と製作をしながら、職員や実習生とも会話が弾んでいる様子でした。

完成図を想像したり、色を選んだり、糊で貼ったりといった手順も様々な刺激があり、心身の活性化につながったのではないのでしょうか。



●9月のイベント情報●

・9月の体験農園は、9月8日(木)10日(土)13日(火)16日(金)21日(水)を予定しています。(9月に入りましたが、当日の気温等で熱中症の危険性が高いと事業所が判断した場合は中止にさせていただきます、予めご了承ください。)



災害に備えていますか？



9月1日は「防災の日」でした。1960年(昭和35年)に制定された 災害についての認識を深め、これに対処し備える日です。

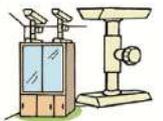
日付は1923年(大正12年)9月1日に発生した『関東大震災』にちなんだものです。近年は地震だけではなく、水害等も毎年発生しており、災害を身近に感じる事が増えてきました。皆様のご家庭では災害への備えはどの程度行っているのでしょうか？

災害発生時、高齢者は若い世代と違い、身動きがとりにくく、様々な面で制限がされてしまいます。また災害時は支援が必要な方が大勢発生する為、高齢者でも公的な支援が遅れがちになってしまいます。その為、公的な支援が届くまでの間は自助で過ごす必要があります。防災の日を機に日頃の備えや発生時の対応をご家族の中でもお話して頂き、防災意識を深めて頂ければと思います。

災害発生時の備え

①『家具の転倒対策で自宅を安全に』

家具は倒れる物と考え、配置を工夫したり、固定をし、動線を妨げないようにしましょう。



②『ハザードマップの確認を』

ご自宅の地域がどういった災害のリスクが高いのか日頃から確認を行いましょう。



③『災害発生時の安否確認の方法を決める』

電話等は繋がりにくくなります。どのような方法が取れるか確認しましょう。



④『避難場所や避難経路を確認する』

建物の状況によっては避難が必要な場合もあります。お住まいによって避難場所も違いますので、確認をしましょう。

⑤『食料や水の備蓄を』

災害発生後、1週間程度は過ごせる水・食料を用意しましょう。

